

若者の地方体験交流 募集概要

しかおいちょう
北海道鹿追町 (人口: 5,135 人)

体験種目: 農林漁業体験・就業体験



(体験内容等)

- 酪農研修 (1年間、4～3月) : 搾乳や乳牛の飼養管理などの研修
- 畑作研修 (7か月、4～10月) : いも・豆・ビートなどの栽培管理と収穫、出荷などの研修

(受入期間) 酪農研修 (1年間、4～3月)、畑作研修 (7か月、4～10月)

(最寄りの交通機関・所要時間)

とち帯広空港から車で約1時間

J R札幌駅～J R新得駅 約2時間30分 J R新得駅から車で20分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 ①鹿追町の農業や商工業に対して意欲をもって研修や実習等に取り組むことができる満18歳以上で心身ともに健康である方(就学中の者は除く)、②普通運転免許を有していること
- 応募締切 随時(ホームページをご確認ください)
- 費用負担 来町及び帰省に係る経費、食費・光熱水費、物財費42,000円/月
- 宿泊施設 専用研修滞在施設有り(無料)
- 食 事 自炊(自己負担)
- そ の 他 地元青年団体等との各種研修、交流事業の実施

(担当者から一言)

大自然あふれる北海道十勝の「鹿追町」で、あたたかい仲間に関われ、農業研修、地元の青年たちとの交流事業に参加してみませんか?

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 北海道鹿追町役場 農業振興課 (担当: 桜庭、佐藤)
TEL 0156-69-7122 E-mail ホームページ内のお問合せフォームから
URL: <http://www.tokachi.or.jp/puremalt>



若者の地方体験交流 募集概要

ひろおちょう
北海道広尾町 (人口 : 6,228 人)

体験種目 : 農林漁業体験



(体験内容等)

ステップ1 体験研修 (1日～1か月) …簡単な酪農体験・農家さんとの交流

ステップ2 実践研修 (3か月～1年) …酪農実習・座学・農業関連施設の視察

ステップ3 就農研修 (ステップ2と併せて最長2年) …就農に必要な技術研修・就農計画の策定等)

(受入期間) ステップ1 (1日～1か月)、ステップ2 (3か月～1年)、ステップ3 (ステップ2と併せて最長2年)

(最寄りの交通機関・所要時間)

とち帯広空港から車で約1時間

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 広尾町の農業に興味関心を持って体験実習及び研修のできる満18歳以上 (18歳未満は保護者同伴) で心身ともに健全である方
- 応募締切 無し
- 費用負担 宿泊施設で利用した寝具のクリーニング代、物財費 : 毎月 5,000 円(実践研修)貸与車両の燃料費
- 宿泊施設 広尾町農林人材育成支援センター (体験研修の場合に限り全額免除)
- 食 事 自己負担
- その他

(担当者から一言)

広尾町は就農をめざす皆さんの挑戦を支援します。大空と大海原に囲まれたサンタのまちの農業で酪農体験してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 広尾町役場 農林課農政林務係

TEL 01558-2-0179 E-mail n-norin@town.hiroo.lg.jp

URL : <https://www.town.hiroo.lg.jp/sangyou/nouringyou/noukatu/>

若者の地方体験交流 募集概要

ひろおちょう
北海道広尾町 (人口 : 6,228 人)

体験種目 : 就業体験、暮らし・イベント体験、農林漁業体験

広尾町ふるさとワーキングホリデー



過去の様子はInstagramで!



(体験内容等)

広尾町に一定期間働きながら滞在し、地域行事や体験プログラムなどを通して地域の方々と交流や自然・一次産業体験など、広尾町での暮らしを体験していただけます。

(受入期間) 9月中旬～11月下旬のうち2～3週間 (最大1ヶ月)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- ・札幌駅よりJR北海道バス「高速ひろおサタ号」で広尾6丁目下車 (乗車時間 約4時間40分)
- ・帯広駅より十勝バス「広尾線」で広尾役場前下車 (乗車時間 約2時間40分)
- ・とち帯広空港より車で約1時間

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農山漁村での生活など興味のある大学生や社会人など(40歳未満)
- 応募締切 参加を希望する日の概ね1ヶ月前まで
- 費用負担 現地までの交通費・宿泊費・食費・生活用品等 : 自己負担
- 宿泊施設 町内各種施設(参加者同士の共同生活になる場合もあります。)
- 食 事 自炊等(受入事業所によっては食事が用意される場合もあります。)
- そ の 他 2023年度の募集については7月頃にホームページに掲載する予定です。
詳しくは下記の担当までお問合せください。

(担当者から一言)

北海道・十勝の最南端に位置する広尾町は、太平洋や日高山脈に囲まれ、海も山も川もある自然あふれた町です。自然の恵みをうけた新鮮な魚介類や乳製品など美味しい「食」も魅力のひとつです。広尾町ならではの仕事に従事しながら、休日は自然の中でゆったりした時間を過ごしてみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 北海道広尾町 企画課企画防災係 (担当 : 角井)

TEL : 01558-2-0184 E-mail : k-kikaku@town.hiroo.lg.jp

URL : https://www.town.hiroo.lg.jp/kurashi/ijuu/hiroo_hurusato-workingholiday/



若者の地方体験交流 募集概要

くろいしし
青森県黒石市 (人口 : 31,540 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験



(体験内容等)

農 作 業 : りんごの収穫、高冷地野菜の収穫等

観光体験 : 大川原の火流し、黒石よされ、黒石ねぶたまつり (時期によります。)

(受入期間)

7月～10月末予定

(最寄りの交通機関・所要時間)

列 車 : 弘南鉄道黒石駅 (東京駅から約 4 時間)

飛行機 : 青森空港 (羽田空港から約 1 時間 20 分)

自動車 : 東北自動車黒石 I.C (東北自動車道川口 JCT から約 650km)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 県外在住の大学生
- 応募締切 * 募集定員になり次第締め切らせて頂きます。
- 費用負担 黒石市役所までの交通費は自己負担
- 宿泊施設 事業指定の宿泊施設 (宿泊費用は半額助成)
農家宿泊実習型 (参加者負担なし)
- 食 事 自己負担
- そ の 他 作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

黒石市に滞在し、農業体験を通じて、地域の人たちとの交流や伝統文化に接して頂き、「米とりんごといで湯のまち」を堪能して頂きたいと思います。

また、ひとりひとりにあったプランを作成し、四季折々の豊かな自然や美しい景観の中で、また来たいと思わせる事業内容となっておりますので心よりお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 黒石市農林部農林課六次産業化推進係

〒036-0396 青森県黒石市大字市ノ町 1 1 番地 1 号 TEL : 0172-52-2111 (内線 654.655)

FAX : 0172-53-1839 E-mail kuro-rokujika@city.kuroishi.aomori.jp

にんにく生産量日本一の十和田市で 農業体験をしませんか



(体験内容等)

- ・にんにく、ながいも、ごぼう、長ねぎ等の植付け・収穫などの農作業体験
- ・バラ焼き、すいとん等の郷土料理体験
- ・農家民泊

(受入期間) 随時 (※時期によって体験できる作物が違います。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

七戸十和田駅 (東北新幹線) - まちなか交通広場バス停 (十和田観光電鉄株) - 受入農家へ
(30分) (バス・タクシー等 ※状況によっては農家の送迎あり)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 無し
- 応募締切 随時
- 費用負担 体験料金・要相談 (例: 1泊2日、3食(昼・夕・朝)、農業体験(半日) 7,800円)
現地までの交通費: 自己負担
- 宿泊施設 農家民泊
- 食 事 受入農家と一緒に調理して食べる
- その他

(担当者から一言)

当協議会は、食の大切さと心と心のふれあいを実感できる交流を実施しています。
野菜を育てる現場の作業や農家の皆さんとの団らんを通じて、ここでしかできない体験をしてみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 十和田農業体験連絡協議会 事務局 高屋繁雄(たかやしげお)
TEL 080-8206-5608
URL : <https://www.city.towada.lg.jp/sangyo/shokusan/nougyoutaiken.html>
: <https://towada-farming.com/>



若者の地方体験交流 募集概要

なんぶちょう
青森県南部町 (人口：17,000人)

体験種目：農林漁業体験



青森県
南部町で
農家民泊
しませんか？



(体験内容等)

- ・農作業体験 (稲作、果樹、野菜等)
- ・地元食材を使った郷土料理体験
- ・農家の生活を体験できる農家民泊

(受入期間) 通年

(最寄りの交通機関・所要時間)

※要相談 (例) 八戸駅 (青い森鉄道) - 三戸駅 - 受入農家へ (約 20 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 なし
- 応募締切 随時
- 費用負担 交通費・体験料金等 (要相談)
- 宿泊施設 農家民泊
- 食 事 食事体験 (共同調理) として提供
- そ の 他 農作業ができる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

南部町には、町の中央を流れる馬淵川、標高 615m の名久井岳が臨み、山と川、そして流域には田園風景が広がる豊かな自然に恵まれた町で、さくらんぼ、りんご、梨、ぶどう等、果樹の栽培が盛んです。農家の皆さんとの交流・団らん、農家の生活体験に関心のある方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 南部町役場 交流推進課

TEL 0178-38-5961 E-mail noson@town.aomori-nanbu.lg.jp

URL : <http://www.town.aomori-nanbu.lg.jp/index.cfm/10,2728,73,html>

若者の地方体験交流 募集概要

体験種目：農林漁業体験
暮らし・イベント体験
その他

くじし
岩手県久慈市 (人口：32,994人)



久慈市の体験教育旅行
こころの体験



(体験内容等)

- ・自然体験…大自然を活用したアクティブな体験
- ・生活文化体験…伝統的な農山漁村の暮らしを体験
- ・農林漁業体験…第一次産業などの地域の産業を体験
- ・農林漁家民泊体験…地域の方々とのふれあいを体験
- ・企業訪問…久慈市の企業を訪問

(受入期間) 2泊3日～1週間程度(通年)

(最寄りの交通機関・所要時間)

受入時本部の平庭山荘まで

路線バス(白樺号)…盛岡駅から約2時間・いわて沼宮内駅から約1時間

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 特になし
- 応募締切 特になし、随時受付
- 費用負担 体験料：2,500円(税抜き)、現地までの交通費：自己負担
- 宿泊施設 平庭山荘(連携受入)又は民泊体験：1泊2食付き7,000円(税抜き)
- 食 事 自己負担、民泊体験は共同調理

(担当者から一言)

久慈市では、山里海の地域資源を活かした体験プログラムを実施しています。

地元の一般家庭に民泊することによってコミュニケーションの向上を促します。また、高齢化が進んでいるため第一次産業などの体験を行うことで、手伝いの一環となりボランティア活動にもつながります。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名

一般社団法人久慈市ふるさと体験学習協会 事務局員 菊池 一弘(きくち かずひろ)

TEL：0194-75-3005

E-mail：info@kuji-taiken.jp

URL：<https://www.kuji-taiken.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

とおのし
岩手県遠野市 (人口：約 25,000 人)

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験



岩手県遠野を第2のふるさととして楽しめるようなツーリズム体験・研究してみませんか？



(体験内容等)

- 遠野型グリーン・ツーリズムの農泊やサイクリングツアー、まちあるき、収穫体験などの各種体験への参加
- 地域住民や移住者等のヒアリングや研究論文の情報提供
- 20年来地域づくりに寄与している遠野型グリーン・ツーリズムについて、事務局より説明可 (無料※通常は有料)

(受入期間) ※通年でご相談に応じます。1回2泊3日以上

(最寄りの交通機関・所要時間)

東京駅から東北新幹線新花巻駅 乗り換え JR 釜石線新花巻駅から遠野駅 (約4時間程度)
遠野駅から徒歩5分 遠野旅の産地直売所にて集合 (遠野駅徒歩圏内)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 遠野のツーリズムによるまちづくりに興味のある
- 応募締切 年間を通じて相談に応じます。実施の10日前にはご相談ください。
- 費用負担 宿泊費 (1泊2食8,800円～)、体験料、食費、交通費、コーディネーター費 (総額5%) : 自己負担
※通常有料の遠野のグリーン・ツーリズムに関する取り組みについて「無料」で説明・対応します
- 宿泊施設 市内農家民宿を想定
- 食 事 農家民宿にて提供 (夕食・朝食は宿泊費に含む)、昼食は自己負担になります
- その他 必要な持ち物は内容によって別途ご連絡します。

(担当者から一言)

遠野のグリーン・ツーリズムは20年来、遠野のありのままの暮らしぶりを楽めるように100名ほどの住民の方々と発展的に民間主導で実践。年々増加している農家民宿や、企業や大学と連携したツーリズムを長年実施。コロナ禍でも、ちょっと変わった町場体験や里山サイクリング等が好評。遠野の旬の旅と一緒に楽しんでくれる方々を募集しています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 特定非営利活動法人遠野山・里・暮らしネットワーク
TEL 0198-66-3543 E-mail tabisan@tono-yamasatonet.com
URL : <http://www.tonotv.com/members/yamasatonet/>



農泊や体験コンテンツは↑

若者の地方体験交流 募集概要

きたあきたし
秋田県北秋田市 (人口：29,266人)

体験種目：就業体験
農林魚業体験、暮らし・イベント体験

四季を彩るたくさんの風景と
文化・歴史が色濃く残るまち
春夏秋冬それぞれが楽しい北秋田！



(体験内容等)

- 暮らし体験 (28メニュー)・・・農業や林業、鉄道体験などを通じて、豊かな自然や地域の生活を楽しむプラン
- 仕事体験 (26メニュー)・・・地域の企業で実際に就労体験をして、移住後の仕事について考えるプラン

(受入期間) 随時募集 (1泊2日以上。ただし、先約がある場合は調整いたします。)

(最寄りの交通機関・所要時間)

- 飛行機:羽田空港-(約70分)-大館能代空港-(リムジンバス約15分)-市民ふれあいプラザ-(徒歩約3分)-市役所
- 鉄道:東京駅-(秋田新幹線約4時間)-秋田駅-(JR奥羽本線約1時間30分)-鷹ノ巣駅-(徒歩約8分)-市役所
東京駅-(秋田新幹線約3時間)-角館駅-(秋田内陸線約2時間30分)-鷹巣駅-(徒歩約8分)-市役所
- 高速バス:池袋駅-(ジビータ号約9時間40分)-鷹巣[いとく鷹巣SC前]-(徒歩約15分)-市役所

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 現在の居住地が秋田県外(出身は問わない)で地方移住をお考えで、本市に興味のある方。
20歳未満の方は保護者の同意が必要となります。
- 応募締切 体験を希望する初日の15日前まで。指定の参加申込書等に必要事項を記載のうえ、下記担当部署まで郵送又はメールでお申込みください。ただし、先約がある場合は調整いたします。
- 費用負担 現地までの交通費、体験費、宿泊費、食事代などは自己負担。ただし、1世帯あたり5万円を上限に助成します。
- 宿泊施設 (1)北秋田市移住定住ネットワークセンター(移住体験用住宅、バリアフリー対応施設あり)
(2)市内ホテル・旅館
- 食事 希望に沿った体験プログラムを事前に作成しますので、プログラム掲載の昼食や夕食はアテンドしますが、アテンド外の朝食等は宿泊先が提供するものとなります。ただし、上記(1)は自炊となりますので食材の持込が必要です。
- その他 選択された体験内容にあった服装や装備をご用意ください。事前に準備いただくものをご連絡します。

(担当者から一言)

豊かな自然を有しながら、市内には大館能代空港があり、羽田空港から70分でアクセスできる首都圏に近い地域です。山とともに生きるマタギの文化、縄文遺跡、森吉山の高山植物など。歴史や伝統、自然といった魅力がギュッと詰まった北秋田の暮らしを体験してみませんか？まずはお気軽にお問い合わせください！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 秋田県北秋田市 総務部総合政策課移住・定住支援室
佐藤、高橋、大野

TEL 0186-62-8002 E-mail iju@city.kitaakita.akita.jp

URL : <https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/teiju>



若者の地方体験交流 募集概要

たかはたまち
山形県高畠町 (人口：22,345人)

体験種目：就業体験、農林漁業体験



山形県高畠町 地域留学 「暮らし、なりわい、コミュニティ」



(体験内容等)

『田舎ホームステイ』と山形県高畠町で行う、地域巡り会いツアーです。高畠町に暮らしユニークな方々と生活や仕事を共にすることで、「暮らし、なりわい、コミュニティ」を体験していただく企画です。

選択したプログラムで約1週間の滞在となります。一緒に新しい企画を考える機会もありますので、みなさんの独自の視点や能力でまったく新しい未来を作ってください。

(受入期間) 年2回(8月下旬～9月上旬頃、2月下旬～3月上旬頃)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 高畠駅(東京駅から約2時間20分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 全国の大学生、一般の方。約1週間の滞在とし、各週の参加者は8名程度を上限としています。
- 応募締切 各受入開始の約2週間前
- 費用負担 1万円～1万5千円
- 宿泊施設 町内ギルドハウス、旅館等
- 食 事 費用負担に3食分が含まれています(懇親会や打ち上げの費用は別途お支払いいただきます。)
- その他 一部野外の活動がありますので、なるべく厚着で帽子や手袋、丈の長い靴でも来訪を推奨しています。

(担当者から一言)

高畠町では、夏季・冬季に高畠熱中小学校において「探究型・地域留学(田舎ホームステイ)」を開催しております。町内での未知の出会いが、心地よい繋がりの機会となれば幸いです。お申し込みをお待ちいたします。

(お問合せ先)

山形県高畠町企画財政課 企画調整係 阿部

TEL 0238-52-1112 E-mail kikaku@town.takahata.yamagata.jp

URL <https://www.town.takahata.yamagata.jp/soshikiichiran/kikakuzaiseika/event/3229.html>

(体験交流事務局：高畠熱中小学校(NPO 法人はじまりの学校) TEL：0238-33-9392)

若者の地方体験交流 募集概要

しょうわむら
福島県昭和村 (人口 : 1,147 人)

体験種目 : 農林漁業体験



四季の移り変わりを日々素肌で感じながら、からむし織を通じた昭和村の暮らしを体験してみませんか。



(体験内容等)

からむし (栽培から織りまでの一連の工程)、山村生活体験

(受入期間) 5月～3月までの約11カ月間。

(最寄りの交通機関・所要時間)

○(電車、バス)浅草(東武鉄道「リバティ会津」)～会津田島(バス)～昭和村 ※その他ルート有

○(車)東京～西那須野塩原 I.C.～南会津町～昭和村

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 満18歳以上、からむし織と山村生活に関心がある方、心身ともに健康な方
- 応募締切 希望する年度の前年10月～応募。下記HPからお申し込みください。
URL : <https://www.vill.showa.fukushima.jp/procedure/3313/>
- 費用負担 体験料無料(光熱水費、燃料費(灯油等)については村が負担します。)
- 宿泊施設 体験中の宿泊は、原則村有施設での共同生活(個室)となります。
- 食 事 自炊。食費は体験生の自己負担となります。
- その他 体験期間中は、村内外の各種行事に積極的に参加していただきます。

(担当者から一言)

からむし織の一連の工程と山村生活を通じて、村人との交流を深め、昭和村の生活文化を知っていただくことを目的としています。

四季の移り変わりを日々素肌で感じながら、からむし織を通じた昭和村の暮らしを体験してみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署 福島県昭和村 総務課からむし振興室

TEL 0241-57-2116 E-mail karamushi@showavill.jp

昭和村 HP : <https://www.vill.showa.fukushima.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

いしかわまち
福島県石川町 (人口 : 14,118 人)

体験種目 : 農林漁業体験



**将来の山林を共に考え、体験し、
実習してみませんか？
あなたの参加をお待ちしております。**

(体験内容等) 「ひとくらす」福島県石川町大字中田字八又 396-1 (旧中谷第2小学校) で林業体験を実施。
石川町の林業体験 (座学 (林業と山村地域の現状、日本の森林の特徴、林業労働の具体的内容)、
チェーンソー編 : 伐木等の業務に係る講習、労働安全衛生、基本操作、実技、振動障害の予防等
刈払機編 : 取扱い安全衛生、取扱い講習)

(受入期間) 1泊2日間 令和5年7月1日から令和5年11月30日 (日程については要相談)

(最寄りの交通機関・所要時間)

東京駅から新白河駅 (新幹線で約1時間) 新白河駅からひとくらす (車で1時間)
磐城石川駅からひとくらす (車で約20分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生、大学院生、社会人等
- 応募締切 令和5年10月31日必着
※ 指定の参加申し込み書に必要事項を記載の上、下記まで郵送又はメールで申し込みください。
- 費用負担 講習費用、参加費用なし(町負担) ※ただし現地までの交通費は自己負担となります。
- 宿泊施設 「ひとくらす宿泊棟」費用負担なし(町負担)
- 食 事 自炊 (食材等自己負担) ※弁当等の手配もできます。
- その他 作業ができる服装や長靴など用意してください。その他必要な持ち物については別途連絡いたします。

(担当者から一言)

石川町は町内の約50%が山林に囲まれた地で、林業就業者が少なく山林の手入れが中々届かない地となっています。林業体験を生かし地域との交流や山林について語り合い、実践してみませんか？
林業や環境保全等関心がある方、お待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 石川町 企画商工課 協働推進係
TEL 0247-26-9111 E-mail kyodo@town.ishikawa.fukushima.jp
URL : <http://www.town.ishikawa.fukushima.jp/>

若者の地方体験交流 募集概要

あしかがし
栃木県足利市 (人口 : 140, 713 人)

体験種目 : 地域づくり活動、農業体験、暮らしイベント体験



(体験内容等)

- ・各種フィールドワーク (商店街、アート、里山くらし等)
- ・地域イベントの運営サポート
- ・市内企業でのインターンシップ
- ・本市の移住定住に関する施策マーケティング調査

(受入期間) 令和5年4月24日～令和6年3月22日

(最寄りの交通機関・所要時間) ・JR両毛線 足利駅 ・東武伊勢崎線 足利市駅

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 18歳以上の学生の方。地域活動に興味があり、人とふれあうことが好きな方。
- 応募締切 令和5年4月24日以降、随時申し込み
- 費用負担 参加に係る諸経費に対して5,000円/回をお支払いします。
- 宿泊施設 市内の宿泊施設をご紹介します。
- 食 事 各自
- その他 動きやすく、作業できる服装をご用意ください。

(担当者から一言)

東京から東武伊勢崎線で約1時間、都内からのアクセスもよい足利市。まちなかには歴史を感じられる古民家も残り、20～30代のUターン者の飲食店、カフェ、ゲストハウスなども増えています。春には駅から歩いて回れる範囲でアートイベント「あしかがアートクロス」を開催し、日本最古の足利学校門前では門前マルシェを定期的に開催しています。年間60本を超える映画をはじめとした映像制作のロケ地にもなっています。大正から昭和にかけて織物のまちとして栄え、今も中小企業ですが、個性的なモノづくりのまちです。地方に積極的に関わりたい、自分のスキルを活かしたい、そんな若い皆さんのフレッシュなパワーを足利で試してみませんか？

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 足利市総合政策部 地域創生課
TEL : 0284-20-2261 E-mail : machi@city.ashikaga.lg.jp
URL : <http://www.kararikoturn.com>

若者の地方体験交流 募集概要

かとりし
千葉県香取市 (人口: 72,000 人)

体験種目: 地域づくり活動、
農林漁業体験



年間3回程度実施予定

香取市

香取市ってどんなところなの? を
見て・知って・学ぶ3日間。

千葉県香取市
おためし!
地域おこし協力隊
3日間体験プログラム

ネットで見学!

(募集時期や、プログラムの詳細は、市のホームページにてご確認ください。)



お問い合わせ 香取市企画政策課 ☎: 0478-50-1206
✉: seisaku@city.katori.lg.jp

地域おこし協力隊として
香取市で暮らすイメージを

田舎暮らししたい! 起業したい! 自己実現したい!

受け入れ対象 宿泊費無料 & 現地での食事代一部補助あり!
・大学生~社会人 (20歳~40歳程度) で地域活性化などに興味や関心のある方

体験内容例 ※開催プログラムは
回ごとに異なります

佐原の町並み散策!
香取市でも観光の中枢を担う「佐原の町並み」を巡った後に、実際に移住をされた方との懇談会や意見交換会を経て、町の魅力はもちろん抱えている問題点なども知っていただきたいです。

市内の農業体験ツアー
香取市の主要産業である「農業」県内のみならず全国規模でトップレベルの農産物が数多くあります。先進的な「農業ビジネス」を行う施設も見学予定です! ぜひ美味しい香取市産の野菜を実際に食べてみてください。

プレゼンテーション発表会
2日間を通して見ていただいた「香取市」。あなたが地域おこし協力隊になったらどんなことができ、やりたいかを発表してください。あなたならではの意見をぜひお聞かせください!

※おためし地域おこし協力隊の開催3日間は、現役の地域おこし協力隊員や香取市職員も参加します。不安なことや移住についてのご質問もお気軽に相談ください。

(体験内容等) ※以下は内容例です。回ごとにプログラムは異なります。

・地域おこし協力隊活動体験 ・町並み散策/古民家活用事例視察 ・農家ツアー ・現役協力隊との交流・意見交換

(受入期間) 大学等の大型連休に合わせて、年間3回程度実施予定 (夏休み・冬休み・春休みなど)

※事前にお問い合わせいただければ、募集開始時にメール等で通知させていただきます。

(最寄りの交通機関・所要時間)

・JR 成田線「佐原駅」駅前集合 (東京駅から電車で約 90 分、高速バスで約 80 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生および大学院生など (3大都市圏または政令指定都市内の在住者を特に希望します。)
- 応募締切 詳細は市 HP をご確認ください、下記担当までお気軽にお問い合わせください。
- 費用負担 現地までの交通費: 自己負担 体験参加費・宿泊費等: 無料
- 宿泊施設 市内ホテル
- 食 事 市内飲食店等 (一部参加者の費用負担有)
- その他 詳細は市 HP (地域おこし協力隊) 等で掲載

(担当者から一言)

香取市企画政策課おためし地域おこし協力隊担当です。おためし地域おこし協力隊は、地域おこし協力隊に応募する前に、2泊3日で地域おこし協力隊の活動体験をしていただくことで、香取市の魅力や課題を考えていただきながら、協力隊として香取市で働くことをイメージしていただく取り組みです。なお、本プログラムを通じて、香取市の様々な魅力に触れることで、将来、地域おこし協力隊となり香取市に住むことがなくても、定期的に市を訪れ、地域と関わり合いを持つなど、香取市の「関係人口」になって頂けたら嬉しく思います。あなたの視点から香取市を見て・感じたことをぜひ教えてください。今までになかった地域おこしのアイデアが地域に吹き込まれることを期待しています。

ご参加いただいた方が香取市の「関係人口」となり、ご縁があれば、地域おこし協力隊員への志望や、移住がしたくなるような魅力的な内容を企画して参りますので、少しでも関心をもってくださいましたら、以下の連絡先までご連絡をいただけますと幸いです。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

(お問合せ先)

団体名・担当部署: 香取市企画政策課政策班 おためし地域おこし協力隊担当

TEL: 0478-50-1206 E-mail: seisaku@city.katori.lg.jp

URL: https://www.city.katori.lg.jp/government/plan_policy/tiikiokosi/otameshi_chiiki.html

若者の地方体験交流 募集概要

じょうえつし
新潟県上越市 (人口：184,941人)

体験種目：農林漁業体験



(体験できる農業分野)

- 1 水稲：耕うん・代掻き・田植え・稲刈り など
- 2 園芸：定植・収穫・選別・箱詰め など
- 3 果樹：剪定・収穫・棚補修 など

(受入期間)

通年（2泊3日を基本として実施） ※冬期間は体験できる内容が限られます。

(最寄りの交通機関・所要時間)

北陸新幹線 上越妙高駅 下車（東京駅から約2時間）

(応募要件・注意事項)

- 参加要件：上越市での就農を考えている人
- 応募締切：体験希望日の2～3週間前まで（目安）
※体験したい分野を踏まえ、受入先農家などと相談するため、お早めにご連絡ください。
※指定の申込書に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先まで郵送またはメールにてお申込ください。
- 費用負担：市外から参加する満50歳未満（中山間地域では満61歳未満）の人は、次のとおり参加に要する費用を支援します。
交通費補助：当市までの移動に要する交通費の1/2（補助上限額1万円）
宿泊費補助：市内の宿泊施設を利用した場合に宿泊費の1/2（補助上限額4千円/1泊）

(担当者から一言)

就農を検討している人に実際に当市へ来て、農業体験を行うことにより、農業の楽しさ・大変さを経験し、当市で就農した時のイメージを持ってもらいたいと考えています。是非お気軽にお問合せください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 新潟県上越市 農林水産部 農政課
担い手育成・農地利用調整係 青木 玲奈

TEL：025-520-5749 E-mail：nousei@city.joetsu.lg.jp

URL：<https://www.city.joetsu.niigata.jp/site/joetsu-agri-portal/nouguyoutaiken.html>





能登半島の“さいはて”でチャレンジ！
**珠洲市実践型
インターンシップ**

Point

- ① 地域や組織の一員として、リアルな課題と向き合うことができる！
- ② 受入先企業との調整はもちろん、あなたのチャレンジをコーディネーターがサポート！
- ③ 数日～1ヶ月のプチ移住。観光では味わえない珠洲の日常が体験できる！

**（体験内容等）**

珠洲市内の企業等の課題解決や新たな事業展開に向けてアイデアを出し合い、試行錯誤しながら進める、実践的なプログラムです。

▶これまでのプログラム例：宿泊施設での体験&宿泊プログラム企画／農業法人で生産した野菜を使ったレシピの考案&発信／珠洲で暮らしはたらく魅力を伝える企業紹介記事の作成

（受入期間） 3泊4日～1ヶ月程度（応相談）

（最寄りの交通機関・所要時間）

- 羽田空港＝飛行機（約1時間）⇒のと里山空港＝乗合タクシー（約45分）⇒珠洲市
- JR金沢駅＝特急バス（約3時間）⇒珠洲市

（応募要件・注意事項）

- 参加要件 大学生、社会人
- 応募締切 詳細は下記のお問合せ先 URL をご覧ください。
- 費用負担 現地との往復交通費及び活動期間中の生活費は自己負担
- 宿泊施設 珠洲市内で調整（無料）※ただし寝具はご自身で手配（持込又は自己負担でレンタル）
- 食 事 自炊等（自己負担）
- その他 滞在中の市内移動は事務局で対応可。活動支援金あり（応相談）。

（担当者から一言）

珠洲市は、石川県・能登半島の最先端に位置する本州で最も人口の少ない市です。世界農業遺産にも認定されている豊かな里山里海の原風景や文化を色濃く残しながらも、「奥能登国際芸術祭」やSDGsなど、先進的な取り組みに挑戦する、なつかしくて新しいまちです。地域とつながってみたい方のチャレンジの場として、また、将来、地方での暮らしを考えている方のトライアルステイとして、この機会をご活用ください。

（お問合せ先）

すず里山里海移住フロント（事務局：珠洲市企画財政課）
TEL：0768-82-7726 E-mail：iju@city.suzu.lg.jp
URL：https://sutto-zutto.com/jissen_int_gaiyo/



若者の地方体験交流 募集概要

体験種目：農林漁業体験

福井県おおい町^{ちょう} (人口：7,906人)



(体験内容等)

「おおい町一次産業体験事業」により、町外の方が、町で一次産業の体験を望む際、町内の農林漁家の方々（登録制）に受け入れてもらうことで、体験の機会を提供しています。町は、体験申込の窓口となっており、参加希望者から希望する体験の内容等を聞き取り、申込受付から受入先のマッチングを行っています。

- 実施時期 通年（体験の内容により時期が異なります。）
- 実施内容 ハウス野菜栽培・収穫・販売、露地野菜等栽培・収穫・販売、水稻、観光農園運営、林業、漁業体験等
- 受入人数 1日あたり1～20名（受入先により異なります。）

(受入期間) 通年（体験の内容により時期が異なります。）

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR小浜線 若狭本郷駅下車 おおい町役場まで徒歩5分
※（名古屋方面）：～新幹線米原駅～（特急）～敦賀駅～（普通列車）～若狭本郷駅
（大阪方面）：～東舞鶴駅～若狭本郷駅

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 町外に在住する18歳以上の方
- 応募締切 随時募集（体験を希望される1か月前までに申込書をご提出ください。）
- 費用負担 参加費用なし
現地までの交通費：一部実費補助
- 宿泊施設 町内宿泊施設（「一次産業活動拠点施設」（300円/日）の利用可能）
- 食事 各自対応
- その他 申込受付後、受入先との調整を行います。

(担当者から一言)

おおい町は若狭湾国定公園を含む風光明媚な景観に加え、町内3つの海水浴場、釣りやハイキングなどの自然を楽しむ人気スポット赤礁崎オートキャンプ場などがありアウトドア好きにも最適な町です。そんな自然豊かな町では、地域資源を活かし磨き上げることで農林水産業を活性化させる取り組みを行っています。農林水産業の体験を通して、ご自身の新たな可能性にチャレンジをしてみたい方をお待ちしています。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 おおい町 農林水産課 林 亜久里 吉原 徳行
TEL：0770-77-4055（直通） E-mail：nousui@town.ohi.lg.jp
URL：https://www.town.ohi.fukui.jp/dept/ooicyou/nousui/index.html



若者の地方体験交流 募集概要

体験種目：地域づくり活動
農林業体験

こすげむら
山梨県小菅村 (人口：657人)



源流大

(体験内容等)

- 神社祭典への参加 ○多摩川源流体験教室のインストラクター体験
- その他地域行事や多摩川源流大学「はたけの学校」の実習等への参加
- こすげローカルツアーの企画、こすげローカルフード図鑑の作成
(要望に応じて追加・変更等は別途ご相談させていただきます)

(受入期間) 令和5年7月から12月まで。長期(2週間)から短期(2日間、週末のみ等)の受け入れも可。

(最寄りの交通機関・所要時間)

- JR 青梅線 奥多摩駅下車 西東京バス 小菅の湯行 小菅の湯停留所 (約60分)
 - JR 中央線 大月駅下車(※) 富士急行バス 小菅の湯行 小菅の湯停留所 (約60分)
- ※ 時間帯によっては猿橋駅からも乗車可能です

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 多摩川源流域の地域づくりに興味があり、積極的に取り組める人。人と関わるのが好きな人。
- 応募締切 受け入れ日の3週間前までに別途の参加申込書に必要事項を記載の上、下記担当者までメールにて提出
※申込み後、体験時期・内容の相談や事業説明に参加(オンラインで実施)
- 費用負担 ・現地までの交通費：自己負担(新宿から電車とバスで片道2,000円程度)
・食事代：自己負担 ・宿泊費：不要
- 宿泊施設 受入側が用意。
- 食 事 基本的に宿泊施設で自炊。
- その他 虫よけ・防寒のため長袖・長ズボンを用意してください。

(担当者から一言)

多摩川源流域に位置する人口660人の小さな村です。源流ならではの暮らしや仕事、農林業の体験をしてみませんか？期間や体験内容はお気軽にご相談ください。

(お問合せ先) NPO 法人多摩源流こすげ・事務局・山下春奈

TEL 0428-87-7055 E-mail info@npokosuge.jp

URL : NPO 法人多摩源流こすげ <https://npokosuge.jp/project> 源流大学 <https://genryudai.jp/>

若者の地方体験交流 募集概要

なんたんし
京都府南丹市 (人口 : 30,451 人)

体験種目 : 地域づくり活動
農林漁業体験



(体験内容等)

- ・農林業体験 (田植え、稲刈り、野菜植えつけ・収穫、草刈り、木こり体験)
- ・地域文化体験 (しめ縄づくり、郷土料理)
- ・地域行事体験 (お祭り)

(受入期間) 4月1日～3月31日

(最寄りの交通機関・所要時間)

J R山陰本線 (嵯峨野線) 園部駅下車 ぐるりんバス又は京阪京都交通「市役所前」下車 (京都駅から約 45 分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 農山村地域への移住を希望される方、農山村地域での田舎暮らしを体験したい方、農山村地域での起業・就業を希望される方
- 応募締切 随時募集
- 費用負担 参加費用なし (ありの場合もあります。)
- 宿泊施設 自己負担
- 食 事 自己負担
- そ の 他 作業できる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途連絡します。

(担当者から一言)

面積が広い分だけ、仕事の幅も広い南丹市。狩猟やジビエ料理のお店をされている方から地域内外の企業に勤める方など、働き方だけでなく、地域ごとの暮らしそのものが多様であることが南丹市の特徴です。美山町の「かやぶきの里」は、年間を通して国内外から数多くの観光客が訪れるので、観光産業も盛んです。JR 京都 - 園部間も快速電車で 37 分。園部始発が多く電車で座りながらゆったり通勤できるのも南丹市のプチ自慢！

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 京都府南丹市 地域振興課 大狩 (おおがり)

TEL 0771-68-0019 E-mail chiiki@city.nantan.lg.jp

URL : <https://www.nancla.jp/>



若者の地方体験交流 募集概要

体験種目：地域づくり活動
就業体験
農林漁業体験

すもとし
兵庫県洲本市 (人口：41,751人)



10年間で24大学から約80人の大学生がやってきて大活躍！
淡路島・洲本市で「おもろい」こと、一緒にやらんか？



(体験内容等)

農作業、農村交流、アウトドアレジャー企画運営、空き家リノベーション、観光マップ作成、商店街活性化、商品開発など体験メニューは多数用意。あなたの「やってみたい」と地域の「やってほしい」をマッチングします。

(受入期間) 一年を通して、日帰り～数か月の中長期滞在まで、出来る限り対応します

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR 三ノ宮駅から洲本バスセンター行き高速バス（西日本 JR バス、本四海峡バス、神姫バス、淡路交通）に乗車し約90分、終点洲本バスセンター下車

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生、リスキルや転職を考える20代の社会人
- 応募締切 随時受付
- 費用負担 交通費の一部（交通費補助制度あり）
- 宿泊施設 大学生には費用負担不要の施設をご用意
- 食 事 自己負担、自炊可
- そ の 他 明るく、ポジティブに、臨機応変に！



大学生滞在施設「ついでほん」

(担当者から一言)

洲本市は、瀬戸内海最大の島、淡路島の中央に位置し、温暖な気候、美しい自然風景、豊かな山海の幸に恵まれ、約4万2千人が暮らしています。人口減少が毎年600人のペースで進んでおり、高齢化、担い手不足など過疎の課題を抱えるなか、地域住民が都市部の大学と連携し、学生や教員とともに地域活性化を目指す「域学連携事業」に10年間取り組んでいます。若者の受け入れ実績が豊富な洲本市に、あなたの「やってみたい」をお気軽にご相談ください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 洲本市・企画情報部 企画課・政策調整係
TEL 0799-22-3321 E-mail kikaku@city.sumoto.lg.jp
URL : <https://www.city.sumoto.lg.jp/> <https://bankalanka.com/>

若者の地方体験交流 募集概要

やぶし
兵庫県養父市 (人口: 21,944 人)

体験種目: 農林漁業体験



農業特区養父市で 1泊2日の農業体験しませんか？ (日帰りも可)

(体験内容等) 体験したい農業をまずはご相談ください。

体験できる活動: 堆肥作り、種まき、植付け、摘果、収穫など (左記は一例です)

養父市の主な農産物: 米、トマト、大豆、ねぎ、いも、はくさい、キャベツ、花きなど
グリーンステイでの受入は「お客様」ではありません。農家の一員として生活してください

(受入期間) 随時相談受付可

(最寄りの交通機関・所要時間)

養父市へは J R 山陰本線八鹿駅下車 (京都駅・新大阪駅から 2 時間 30 分)
車の方は京阪神から 2 時間。北近畿豊岡自動車道 八鹿・氷ノ山 I C を降りてください。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 都市部に住む、18 歳以上 (代表者) の方。1 団体 5 人まで。
- 応募締切 体験希望日の 2 週間までに申し込み (*1 短期お試し住宅を希望する方は 3 週間前までに申込が必要)
- 費用負担 宿泊費・食事代・現地までの交通費・保険・急な病気やけが等にかかる医療費
- 宿泊施設 民間の宿泊施設を利用した場合市から支援あり。また、体験受入農家もしくは短期お試し住宅に宿泊する場合は無料になります。*1 短期お試し住宅とは・・・5 泊 6 日まで宿泊可能な市所有の移住者専用のお試し住宅です。
- 食 事 原則参加者が負担。
- そ の 他 応募用紙など詳しくは、やぶぐらしホームページを参照 <https://www.yabugurashi/greenstay>

(担当者から一言) 農業特区養父市では、都市部の住民が地方の農業を手伝いながら、田舎暮らしを体験し、心身のリフレッシュや農業技術の習得、農家との交流ができる「養父市グリーンステイ」があります。具体的な日程や体験メニューを調整し、受入農家を決定します。「養父市グリーンステイ受入確認書」が届き、実施日が近づいたら受入農家に事前に連絡し、交通手段や準備するもの等の調整をします。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 兵庫県養父市 市民生活部 やぶぐらし・地方創生課
TEL079-662-3172 FAX 079-662-6161 E-mail yabugurashi@city.yabu.lg.jp
URL : <https://www.yabugurashi/greenstay>

若者の地方体験交流 募集概要

かわかみむら
奈良県川上村 (人口: 1,156人)

体験種目: 地域づくり活動
農林漁業体験



(体験内容等)

- ・川上村を学ぶレクチャー（座学、源流部の視察、大滝ダムレクチャー等を予定）への参加。村内機関でのインターン。地域行事への手伝い、参加。
- ・インターンシップを経ての学生自身のネクストアクションの発表(最終日)。
- ・インターンシップ Facebook ページでの活動内容の発信。
- ・ご応募された方のご希望も最大限反映します。

(受入期間) 14日間 8月8日(火)～8月21日(月)

(最寄りの交通機関・所要時間)

近鉄電車吉野線 大和上市駅下車 やまがきバス、(又はスマイルバス、ゆうゆうバス) 川上村役場前下車
(乗車時間約30分)

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 大学生及び大学院生
- 応募締切 7月22日(金) 必着 指定の参加申込書に必要事項を記載の上、下記担当者まで郵送又はメールで申し込んでください。
- 費用負担 参加費用なし
- 宿泊施設 公共施設(コテージ) 費用負担なし
- 食 事 自炊 自己負担(費用相当分の補助あり)
- その他 作業ができる服装を用意してください。その他必要な持ち物は別途ご連絡します。

(担当者から一言)

川上村は500年の歴史を持つ吉野林業の地で、大滝・大迫ダムと緑のダムを抱える水がめの村です。吉野川・紀の川の源流から流域へ清らかな水を届け続けるため、村づくりを展開しています。過疎地域における行政の取組や地域のうごき、林業や環境保全を学んでいただくはもとより、村民を始めとする沢山の川上村に関わる人達と出会っていただきたいと思ひます。そこで見聞きたことについてどう感じたかを一番の学びとして、我々は提供したいと思ひますので、是非ともご応募お待ちしております。

(お問合せ先)

奈良県川上村 水源地課 奥谷 光平 (おくたに こうへい)
TEL 0746-52-0111 E-mail suigenchi@vill.nara-kawakami.lg.jp
URL : <https://www.vill.kawakami.nara.jp/source/docs/2017020700146/>

若者の地方体験交流 募集概要

ゆりはまちょう
鳥取県湯梨浜町 (人口：16,394人)

体験種目：地域づくり体験、就業体験、農林漁業体験

地域住民と一緒に、本当の「湯梨浜町(ゆりはま)」を体験しませんか？



高齢化や人手不足、地域の問題を移住定住希望者とともに解消する。地域住民と移住定住者が一緒に町づくり・地域づくりをおこなう。

それが「ゆりはま暮らし体験ボランティア制度」です。

(体験内容等)

- ・地域住民で立ち上げたカフェ又は交流施設、ベーカリーでの販売、接客補助
- ・農業体験 (農作物の収穫、出荷作業補助)

(受入期間) 毎年5月以降 (体験期間1から3日)

(最寄りの交通機関・所要時間)

JR山陰本線 松崎駅下車 徒歩5分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 県外に居住し、上記体験を希望する者
- 応募締切 随時
- 費用負担 交通費：全額自己負担
宿泊費：町内の民間のゲストハウス「たみ」を利用される場合は、宿泊費は受入主体が負担します。
食事代：全額自己負担
- 宿泊施設 民間のゲストハウス「たみ」(男女別の相部屋、自炊キッチン有り)
- 食 事 原則自炊 (併設するカフェでの軽食等の提供有り (有料))
- その他

(担当者から一言)

ボランティアのお手伝いでみんなが笑顔になります。ボランティアの作業でおいしい農作物が育ちます。たった1日でもOKです。湯梨浜町の暮らしを体験してみてください。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 湯梨浜町役場デジタルみらい戦略課みらい創造係 音田

TEL 0858-35-3141

E-mail yimirai@yurihama.jp

URL : <https://www.yurihama.jp/site/taikenv/18977.html>



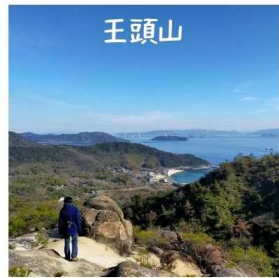
若者の地方体験交流 募集概要

まるがめし
香川県丸亀市 (人口: 108,143 人)

体験種目: 農業漁業体験



大4の学生さんが来島(秋)



(体験内容等)

- ① 地元農家畑にて農作業への参加(種まき・耕耘などは時期により作業は異なる) & 調理体験
- ② 地元のおばちゃんたちとの料理体験
- ③ 王頭山・心経山の登山道整備 など

(受入期間) 通年

(最寄りの交通機関・所要時間)

備讃フェリーにて丸亀港から大型フェリー40分、小型高速船20分 ※丸亀駅から丸亀港までは徒歩10分

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 就活前・就活中で地方でのキャリアに興味のある方、離島での暮らし・農業・過疎地支援に興味のある方
- 応募締切 各宿泊施設との担当者との打ち合わせの上、体験実施1週間前
- 費用負担 島までの交通費、宿泊費(宿泊施設により異なる)、体験料
- 宿泊施設 島内の宿泊施設
- 食 事 宿泊施設による。長期滞在など自炊を前提とする場合は事前に連絡。
- その他 長袖長ズボン・軍手・帽子・汚れてもいい服、宿泊を伴う場合は寝間着もご持参ください

(担当者から一言)

島は少子高齢化・過疎化の最先端のような場所です。とはいえ、透き通るような海、きれいな星空、澄んだ空気や自然あふれる場所でもあります。離島や田舎での暮らしを体験してみたいという方はもとより、就活に備えて進路に迷う学生さんもぜひ一度足をお運びくださいませ。島のおっちゃん・おばちゃん、また若い移住者と日頃出会えない人々とのコミュニケーションで何かきっと新たな気づきがあるはずです。(26歳移住者・かがわ暮らし応援隊・唐崎翔太)

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当者名 讃岐広島・小手島・手島活性化協議会事務局(広島市民センター) 山田
TEL 0877-29-2030 E-mail hiroshima-se@city.marugame.kagawa.jp
URL: <https://www.marugame-happy-life.jp/islands/hiroshima/>

若者の地方体験交流 募集概要

体験種目：地域づくり活動
農林漁業体験

せいよし
愛媛県西予市 (人口：35,560人)

のむらのことが好きになる



(体験内容等)
 ● 四国西予ジオガイド ● ジオサイクリング ● 季節の野菜収穫 ● 森林間伐体験 ● 竹林整備里山保全
 ● ジビエ料理 ● 藍染体験、ろうけつ染め、コースターづくり (シルク博物館) ● 相撲体験&酒蔵見学 ● 災害語り部
 ※各体験については、受入人数の下限と上限がございますので、お問い合わせ時にご確認ください。

(受入期間) 日時・期間については要相談となります。

(最寄りの交通機関・所要時間)
 電車&バス JR 松山駅➡JR 卯之町駅 (約1時間) 卯之町駅➡野村営業所 (バス約30分)
 自家用車 松山IC➡西予宇和IC (約1時間) 宇和➡野村 (約20分)

- (応募要件・注意事項)
- 参加要件 「のむら」を肌で感じてみたい若者のみなさん
 - 応募締切 体験希望日の概ね1ヶ月前
 - 費用負担 現地までの交通費：自己負担 体験料：自己負担 (各体験内容で料金は異なります。)
 - 宿泊施設 地域内宿泊施設紹介 【ento house】・【ビジネスホテルいのうえ】・【民泊珠ちゃん】 料金 4,000 円～
 - 食 事 自己負担 (弁当等の注文については対応いたします。)
 - そ の 他 服装等は体験内容によって異なりますので、お問い合わせ時にご確認ください。

(担当者から一言)
 西予市の野村地域はシルクとミルクで栄えたまちです。また全国で唯一、プロカ士とアマチュア選手が取り組みを行う相撲の町でもあります (乙亥大相撲)。平成 30 年西日本豪雨で大きな被災を受けましたが、そこで生まれた「絆」により、多くの関係人口や移住者も誕生しています。山間部ならではの自然と人間味あふれる地域住民が最高の「押し」です。ぜひ野村での濃厚な各種プログラムをご体験ください。お待ちしております。

(お問合せ先)
 団体名・担当部署・担当係名 野村地域づくり活動センター (NPO 法人シルミルのむら)
 TEL 0894-72-1117 E-mail shirumirunomura@gmail.com
 URL : <https://www.facebook.com/Nomura.jichishin/>



若者の地方体験交流 募集概要

うさし
大分県宇佐市 (人口 : 53,385 人)

体験種目 : 農林漁業体験



一回泊まれば
遠い親戚
十回泊まれば
本当の親戚



(体験内容等)

- 農業体験…農林漁業に関する体験を行うことで、収穫の喜びを知ってもらうことを目的とした体験内容となっています。季節ごとに体験内容が異なり、その期間にしかできない体験などもあります。
- 農村体験…都会では体験できない自然豊かな生活や、農山漁村の暮らしを体験することができます。
- 農食体験…採れたての野菜や魚など新鮮な食材を使い、郷土料理作りやおかし作り、いろり体験などを行います。普段気にせず食べている食材への感謝を学ぶことができます。

(受入期間) ※通年でご相談に応じます。

(最寄りの交通機関・所要時間) (1時間4分)

JR 中津駅⇒バス(大分交通中安線) 安心院(終点) 下車⇒車で送迎 ※事前にご相談ください。

(応募要件・注意事項)

- 参加要件 無し
- 応募締切 年間を通じて相談に応じます。実施の4日前にはご相談ください。(12月30日～1月3日を除く)
- 費用負担 要相談(例: 1泊2食+農村・農業体験2~3時間 9,500円)、交通費: 自己負担
- 宿泊施設 農村民泊
- 食 事 農食体験(共同調理)として提供
- その他

(担当者から一言)

農泊発祥の地・安心院では、ほかでは味わえない体験やここにしかない景色がたくさんあります。人の優しさや家庭の温かさ、農作業の大変さと楽しさ等、農村に対する新たな認識を与える「非日常体験」を行うことができます。農泊を通じて、農村のあるがままの暮らしや体験、お客様と受入家庭の心と心の交流など忘れられない“思い出”を作ってみませんか。

(お問合せ先)

団体名・担当部署・担当係名 宇佐市安心院支所 産業建設課グリーンツーリズム推進係
TEL : 0978-44-1113 E-mail : 2green05@city.usa.lg.jp
(申し込み先)
団体名 : NPO 法人安心院町グリーンツーリズム研究会
TEL : 0978-44-1158 URL : <http://www.ajimu-gt.jp/>